

# 広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

## ●循環型社会を目指して

田原市では、たはらエコ・ガーデンシティ構想のもと菜の花エコプロジェクトを推進しています。

菜の花エコプロジェクトは、菜の花をキーワードにした農地の健全化を図るプロジェクトです。

### ◆主な事業

- 菜の花の栽培
- 菜種の利活用
- 廃食用油の利活用



昨年10月に種をまいた菜種は場では、5月下旬に収穫の季節を迎え、NPOの皆さんによって、刈取り・選

別・乾燥作業が行われました。

菜種の収穫は、適期を逃すとサヤが乾いて種がこぼれてしまうため、タイミングが重要です。



一方で、ヒマワリなどの種まき作業も始まっています。これは、冬に菜の花が咲いた畑を維持管理するために作付けするもので、市内の遊休農地の土地所有者やNPOの皆さんが中心となって管理しています。

## また、菜の花エコプロジェクト



源循環や環境と食と農業のかかわりについて学習するため、市内の保育園・幼稚園、小学校でもヒマワリの種まき体験が行われています。体験中の子どもたちは笑顔でいっばいです。菜の花エコプロジェクトの輪は、多くの市民の皆さんに広がりを見せています。

●たはらエコチャレンジャー宣言登録者数  
個人2008人・事業所85か所(5月末現在)

## ▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

## 環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん13



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

家庭から出る生ごみは、もやせるごみの約3割を占めています。生ごみを出さないよう工夫することで、市全体の生ごみの減量につながります。今回は、家庭から出る生ごみを減らす「生ごみ処理機」をご紹介します。



### ●生ごみ処理機のメリット

- 生ごみの減量ができる。
- その日のうちに生ごみを処理できるため、匂いや雑菌の繁殖を抑える。
- 生ごみからできた堆肥を家庭菜園やプランターなどで利用できる。



### ●種類と特徴

#### ◆生ごみ処理容器(コンポスト)

土の中の微生物の働きや発酵資材を使って、生ごみを堆肥にする。日当たりがよく、風通しのよい屋外などに設置。堆肥化にかかる期間は数カ月。

#### ◆電気生ごみ処理機

- ①乾燥式Ⅱ熱風などで生ごみを乾燥させ粉碎する。主に、屋内に設置。
- ②バイオ式Ⅱバイオ剤を生ごみに混ぜ、微生物の力で発酵分解する。ベランダや軒下などの屋外に設置。

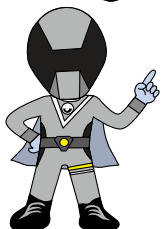
※堆肥化にかかる時間は数時間程度。

### ●補助金制度をご利用ください

市では、生ごみ処理機の購入に対し、補助を行っています。昨年度は25件の申請がありました。補助額は、購入費の1/2で、限度額はコンポストが3千円、電気生ごみ処理機が1万円です。

※詳しくは市ホームページもしくは清掃管理課へお問い合わせください。

生活スタイルに合った生ごみ処理機を選んで、リサイクルを始めてみてはいかがでしょうか。



## ▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180